

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画に係る面談

2. 日時：令和3年7月16日(金)13時30分～14時15分

3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、北條主任技術研究調査官、有吉上席安全審査官

伊藤安全審査官、上野管理官補佐、小舞管理官補佐、加藤原子力規制専門員

文部科学省

原子力課 核燃料サイクル室

横井核燃料サイクル推進調整官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証本部 本部長 他6名

5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、次回のもんじゅ廃止措置安全監視チーム会合（以下「監視チーム会合」という。）の資料案について、配付資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁から以下のとおりコメントした。

（資料1について）

- ・5月19日から実施している燃料体処理作業について、当初の計画に対して実際の作業がどのような推移で進捗したのか、グラフ等により示すこと。

（資料2について）

- ・昨年12月の監視チーム会合以降廃止措置工程第2段階の検討が滞っていたことを認識し、その上で原子力機構における体制の問題点を洗い出し、改善の方向にあることは、監視チームにおける問題意識と合致している。
- ・引き続きプロジェクトマネージャーである敦賀廃止措置実証本部長のもと、ロードマップの策定作業等を進め、進捗状況について適宜公開会合及び面談において説明すること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：「もんじゅ」の燃料体取出し作業の進捗状況について

資料2：もんじゅの第2段階以降の廃止措置計画策定に向けた取組状況